



学校体育功労賞を受賞して

氷川町立竜北中学校 校長 赤星 稔

平成29年度熊本県学校体育功労賞をいただく栄誉を賜り感謝申し上げます。また、今回の受賞には、多くの生徒・体育関係者・同僚・保護者・地域の方々の支えがあったからだと思います。ありがとうございました。

私は、大学卒業後、高校の非常勤講師として1年間勤め、その後昭和56年八代市立文政小学校に赴任しました。以来37年間小中学校の「保健体育」の研究実践に取り組み、学校体育や運動部活動及び保健体育研究に微力ではありますが取り組んできました。

特に、平成8年に行われた熊本県中学校保健体育研究発表会八代郡大会では、「21世紀を志向し、心豊かにたくましく生きる人間を育成する学校体育の推進を目指して」というテーマのもと、陸上競技部会の授業者として選択制授業（ハードル走と走り幅跳び）に取り組ませていただきました。当時の八代郡の体育教師は12名という少ない人数で、いくつもの役割を受け持ちながらの大会運営でした。授業では、生徒の学習意欲を高める場作りや生徒同士が教え合い高め合う学習過程の工夫、評価の在り方についてなどの提案授業を行い、それまでの自分自身の授業を振り返る機会となりました。

その次の年、平成9年は、県中体連総合体育大会八代郡大会でした。これも八代郡中体連12名のメンバーで取り組みました。総合開会式の準備・各種目との連絡調整など、今でもよく12名でやることができたと思っております。総合開会式は、前日から台風接近が予想されており、判断はとても難しかったのですが挙行することができました。しかし、入場行進の途中から雨が降り出してしまいました。雨の中の総合開会式となってしまいました。しかし、その後は天気があがり全ての競技を行うことができました。たった12名で県中体研の発表・県中体連大会の運営ができたことに、当時の八代郡の団結力・実行力は素晴らしかったと思います。

また、平成9・10年の2年間は文部科学省より地域指定を受けた「エイズ教育」では、テーマ「エイズを正しく理解し、ともに生きる児童・生徒の育成」（副題：学校・家庭・地域社会の一体化を図るエイズ教育（性教育）を目指して）のもと、小・中・高との学習の系統性を踏まえながら研究を進めるなど、保健学習にも勉強の機会をいただきました。

その後、管理職となり体育関係からは少し遠ざかってしまいましたが、平成23年度より八代中体連副会長を、平成25年度より八代中体連会長を務めさせていただきました。

特に、平成26年度には県中体連の副会長として県中体連総合体育大会八代大会の運営に関わらせていただきました。その際は、当時の副会長・理事長をはじめ多くの体育の先生方や種目の先生方の協力で課題を一つずつ乗り越え、大会を成功に導くことができました。そういう意味でも、今回の私の受賞は八代全体の受賞だと思っております。ありがとうございました。

これからも、熊本県の体育の発展のために、できることを考えしっかりサポートしていきたいと思っております。これからもよろしくお願いいたします。